様式第3



変更) 届出書 一般粉じん発生施設設置=

提出日を記入

提出先を記入

法人の場合は代表者

令和3年4月1日

佐久地域振興局長 様

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名)

届出者

長野市南長野〇一〇一〇 ○△産業株式会社 代表取締役 長野太郎

大気汚染防止法第18条第1項<del>(第18条第3項、第18条の2第1項)</del>の規定により、一般粉 じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称	〇 <b>△産業株式会社</b> 佐久工場	※整理番号		
工場又は事業場の 所 在 地	佐久市跡部〇〇〇〇	※受理年月日 施設の項番号及び利	年 月 日	
一般粉じん発生施 設 の 種 類	2 堆積場	施行令別表第2)を記入  1 コークス炉 2 堆積場 3 ベルトコンベア、バケットコンベ 4 破砕機、摩砕機 5 ふるい  ※備 考		
一般粉じん発生施 設の構造並びに使 用及び管理の方法	別紙1から別紙4のとおり。			

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び 名称を記載すること。
  - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させるこ
  - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A 4とすること。

## 一般粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工	場又	は事業場における 設 番 号	1	
名	称	及び型式	砕石堆積場	
設	į	置年月日	年 月 日	年 月 日
着	手	予 定 年 月 日	<b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>1</b> 日	年 月 日
使	用丨	開始予定年月日	<b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>15</b> 日	年 月 日
規	面	積 (m²)	1, 200	
模	堆 積 能 力 (t)		20, 000	
	引延へ	)種類、性状及び通常の ド堆積量 (t/年)	砕石 80,000 t/年	
		遺場がその中に設置され いる建築物の概要		
	散	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー 〇〇工業S-1、5基	
使	水	装置の能力 (m³/h)	1.5	
用		散 水 の 方 法	時間ごとの自動散水	
及	防じんカバーの設置状況			
び	薬	薬液の種類・名称		
管	来 液 散 布	装置の種類・型式・基数		
理		装置の能力 (m³/h)		
の 上		散布の方法		
方法	締固	装置の種類・型式		
<b>公</b>	めめ	方法		
	その他	方法		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には 設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月 日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
  - 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たと えば散水の場合は水量L/t)、実施頻度等を記載すること。
  - 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
  - 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

## 一般粉じん発生施設 (コンベア) の構造並びに使用及び管理の方法

工	場 又	. は事業場における 設 番 号 <b>2</b>			
名	称	及び型式ベルトコンベアB-100			
設	į	置年月日年月日	年	月	日
着	手	予 定 年 月 日 <b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>1</b> 日	年	月	日
使	用!	開始予定年月日 <b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>15</b> 日	年	月	日
		レト幅 (cm) 又はバケット 字積 (m³) ベルト幅 100 cm			
規	単基	<b>30 m×2基 30 m×2基</b>			
模	ベル	レト又はバケットの速度 (m/分) <b>50</b>			
	運	搬能力 (t/h) <b>190</b>			
	股物 Ø 引運搬	の種類、性状及び通常の 設量 (t/月) <b>砕石 △△ t/月</b>			
		レベアがその中に設置さ こいる建築物の概要			
	集	集じん機の種類・型式			
使	じん	集じん機効率 (%)			
用及	機	送風機の原動機出力 (kW)			
び 管	散	装置の種類・型式 スプリンクラー			
理の		装置の能力 (m³/h) <b>0.25</b>			
の方法	水	運搬量当たり散水量 (L/t) <b>1</b>			
	防心	じんカバーの設置状況			
	その他	方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には 設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月 日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
  - 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設(破砕機、摩砕機、ふるい)の構造並びに使用及び管理の方法

工:	場又は事業場における 設 番 号	3		
名	称及び型式	コーンクラッシャー 〇〇一口型		
設	置年月日	年 月 日	年	月 日
着	手 予 定 年 月 日	<b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>1</b> 日	年	月 日
使	用開始予定年月日	<b>令和3</b> 年 <b>5</b> 月 <b>15</b> 日	年	月 日
規	原動機の定格出力 (kW)	90		
模	処理能力 (t/h)	120		
	理対象物の種類及び通常の 間処理量 (t/月)	岩石 2000 t/月		
	破砕機、摩砕機又はふるいがその 中に設置されている建築物の概要			
	集集じん機の種類・型式			
使用及び管理の方	じ 集じん機効率 (%)			
	機 送風機の原動機出力 (kW)			
	装置の種類・型式	スプレーノズル		
	装置の能力 (m³/h)	50		
	水 処理量当たり散水量 (L/t)	500		
法	防じんカバーの設置状況			
	そ の 方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には 設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月 日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
  - 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。